

目標達成計画

作成日：平成 22年 6月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間職員が一人になった場合、災害等による入居者の避難誘導への限界がある。	近隣住民との協力体制の構築に努める。	避難訓練に近隣住民にも参加して貰い定期的な消防訓練を行う。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期に対し、家族に更なる詳細な説明が必要である。主治医には少しの変化でも伝える必要がある。	家族、職員、主治医の連携を更に図り、情報の共有に努める。	職員間の申し送りは的確に伝え少しの変化も見逃さないようにし、その内容を家族・主治医へに連絡が誰でもできるようにする。定例会議では意思伝達が的確にできるよう訓練する機会を設ける。	12ヶ月
3	30	更に詳細な生活状況を家族・主治医に伝えていないこともある。	更に詳細な生活状況を落とすことなく家族・主治医に伝える。	今後、重度化していくことも予測されるので主治医へ細かい情報提供や相談も含め連携に努めることを職員全体で取り組む事とする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。